

令和7年度 奈良県立野外活動センター事業概要

1 奈良県立野外活動センター設立の趣旨

次代をになう青少年たちが、大自然の中において、人間としての本来の自己をみがきだす場である。

冷気澄む 都祁の山野に 起居をともし、理想の光をかかげて真の交わりを結ぶとき、若い生命は新しい炎を得て さらに燃えるであろう。

ここに 大自然のリズムとともに よみがえる清新な活力こそ、希望に満ちた未来を開く鍵である。

2 野外活動センターコンセプト

「子どもから大人まで幅広い年代の人々が、豊かな自然のなかでの野外活動を通して、日常では味わえない充実した時間を過ごし、満足を得られる施設」を目指す。

3 令和7年度運営方針

自然体験活動や野外体験の機会が減少する今日、大自然の中で、自然観察や様々な体験活動を通して、豊かな人間性や社会性を育むことが求められている。

また、物事を最後まで成し遂げることを通して、よりよく問題を解決する資質や能力を育てるとともに、健康・体力の増強を図ることが大切である。

そこで、地域社会や学校と密接に連携し、『規律・誠実・友愛』の生活信条のもと、生き生きと活動できる「場」と「機会」を提供し、大人や子どもに「憩い」や「感動」を提供する。

また、生涯学習の視点から、企業研修や各種団体・家族・グループ等の活動の「場」と「機会」の提供及び活動の支援をする。

4 令和7年度重点事項

- ① 学校教育、家庭教育、社会教育など、生涯を通じた幅広い学習の場と機会を提供し、その活動の支援をする。また、野外活動を通じて日常では味わえない時間を提供する。
- ② 森林環境教育の推進に向け、自然を活かしつつ、体験的に学べる環境の整備を行う。また、安全の確保を推進しながら、多彩なプログラムの開発を行う。
- ③ 生涯学習社会を展望した活動内容の充実と創意工夫による諸業務を推進する。
 - ア 充実した野外活動等の推進と「場」・「機会」の提供
 - イ 発達段階(幼児から)に即した多様なプログラムの開発と活動機会の提供
 - ウ 子ども、親と高齢者の世代間交流を図りうる自然体験事業の開発
 - エ 地域社会との交流の充実
 - オ リーダー育成等の推進
- ④ 奈良県植栽計画において得た有識者会議での長期ビジョンを基に、センターにおける森林環境の整備や資源活用を進めてゆく。